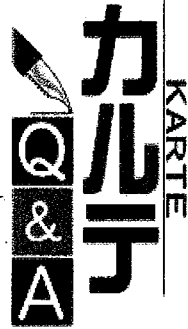


約10年前、両耳に難聴が認められました。聴力低下を診断された昨年5月ごろ、就寝中にモーターのような音が聞こえるように。最近は屋間に雨降りのような音などが聞こえます。理由だけでも知りたいです。アドバイスをお願いします。(91歳、女性)

## 耳鳴り



地村友宏医師

国民生活基礎調査(2019年)では、耳鳴りは65歳以上の約3割にあると報告されています。なかなか治らず、多くが悩

## 薬物、補聴器、順応療法を

難聴が原因です。耳鼻咽喉科で行う純音聴力検査で、各周波数での聴力を詳しく調べる事ができます。「加齢性難聴」では高音域の聴力の低下が多くみられ、「キーン」「ピー」といった高音の耳鳴りが起こります。鼓膜の振動を電気信号に変換して脳に伝える内

急に生じた場合は聴力検査が必要で、「低音障害型感音難聴」「メニエール病」「耳管開放症」などの病気が見つかることがあります。また雨や波のような音が心臓の拍動と同期して聞こえる場合は「血管拍動性耳鳴り」の症状で、脳動脈瘤などが原因の可能性があります。

が効果的なことも多いです。「RT療法」という耳鳴り順応療法も有効な方法です。補聴器外来のある耳鼻咽喉科で相談すると思います。  
(兵庫県医師会、地村友宏II姫路市、じむらクリニック院長)  
◇第1、3、4日曜に掲載します。

んでいるのが現状です。片側の耳鳴りが急に生じた場合、耳そのものに異常がある可能性があるため早期の受診をお勧めします。一方、両耳でゆっくり生じる耳鳴りは、多くが年齢を重ねることによる「加齢性難聴」や、仕事などで騒音にさらされたことによる「騒音性

耳の有毛細胞が騒音で疲労し、血管の老化によって自己修復できなくなることが主な原因と考えられています。「ジーシー」「シュー」などの異音が入り交じる耳鳴りは、耳の広範囲に障害が起ると生じます。他に「ブーン」「ゴー」といった低音の耳鳴りもあります。

一方、音のない静かな場所でも「シーン」という音を感じることがありますが、その多くは生理的な現象です。耳鳴りの治療では、まず薬物療法を行うことが多いです。ビタミン製剤、血流改善薬、血管拡張薬、漢方薬などを用います。難聴を伴う場合は補聴器の装用